

天ぷら油で走る「サンクスネイチャーバス」！

特定非営利活動法人

サンクスネイチャーバスを走らす会

1. バスが走り出すまで

サンクスネイチャーバスは1997年4月、自由が丘の街を走るコミュニティバスとして、100%天ぷら油の廃食用油燃料で走り始めました。

今年で17年目に入りますが、通算乗者数は100万人を突破し、今では自由が丘の街になくはない存在になりました。

そもそも「Thanks Nature」という呼称は、自由が丘にあったお店の店名で、またそのお店のコンセプト”自然さん、ありがとう“をモデルにしたものです。このお店は、鉢花や園芸用品の販売、ガーデニング教室や有機野菜を使ったレストランを併設するなど、環境への取り組みを先取りした評判のお店でした。

そのお店のオーナー齊藤社長からの「地域住民のために役立つバスを走らせたらどうか」という提案をきっかけに、目黒通り自由が丘のSHELL GARDEN(現 The Garden)の島田社長(当時)、自由が丘インターナショナル・テニスカレッジの栗山社長(現在は LIBERTY HILL CLUB も経営)、後樂園ボウル(当時)の油田支配人の4人が集い、バスの立ち上げに尽力することになります。

当時4人は、”天ぷら油で自動車が走る“という噂を耳にしました。廃油回収業の染谷商店(染谷社長)が、飲食店や食品加工工場から回収した廃食用油の燃料化に成功し、自社のトラックで試験運行していたのです。

ならば！ということで、その燃料でバスを走らすことを思いつき導入することになったのが、サンクスネイチャーの歴史の始まりです。



◆発足時の発起人メンバー 左より:栗山会長、島田理事、齊藤理事 油田元理事

2. バイオディーゼル燃料(BDF)

当時の欧米では、石油の代替燃料として、大豆油、菜種油、ひまわり油等のバイオ・ディーゼル・フュエル(BDF)とサトウキビやトウモロコシから抽出したバイオ・エタノールが、燃料として実用化していました。しかし、我が国は石油だけでなく、植物油の原料も100%近く海外に依存しています。家庭や飲食店で使われた食用油は生ゴミとして焼却されていますが、下水に流されて東京湾に油の塊が浮かんでいるという報告もあります。

そこで染谷さんは、廃棄された食用油を回収し、燃料として再利用(リサイクル)すれば、省エネ・省資源に役立つはずだと考えたのです。

問題は、我々の熱意だけでバスを走らせるか。

まず、私たちは運輸省(当時)の陸運局を訪ねました。案の定、自動車はガソリンか軽油で走るもので、植物油、しかも廃食用油を燃料として走らせた前例はないとお役所らしい答えが返ってきました。そこで、海外ではBDFが実用化されていること、国内では染谷商店が試験済みであることを説明し、BDFでバスを走らせる意義を訴えました。

同じ頃、農林水産省の外郭団体「政策科学研究所」が、BDFの実用化に向けて研究を始めていたことも追い風となりました。

それから一週間後、車検証の備考欄に「軽油と廃食用油燃料併用」と記載するが、あくまでも「地域限定・試験走行」という条件付きで許可されました。

3. 走り出すまでの課題

次の課題は、自由が丘の街にバスを走らせるためには、どのような問題をクリアしなければならぬか、でした。

まずは資金が必要ですから、上述の四人が発起人となり開業資金を拠出し、「バスを走らす会」を設立して会員(サポーター)を募集しました。このバスは「貸切バス(送迎バス)」として認可されましたので、乗客から料金を徴収することは出来ません。そのため無料バスになったのですが、幸いにも、会の主旨に賛同して下さる多くのお店や企業がサポーターになって下さいました。

後に自由が丘商店街振興組合も協力して下さい、コミュニティ・バスとしての役割を果たせるようになりました。また、日蓮宗「立源寺」(目黒区中根)さんには、廃油を回収する場所を提供していただいています。

現在では33社の企業やお店などのサポーター会員に加え、協賛会社にはラッピング広告、ステッカー広告でご支援下さっています。バスの運行は観光バス会社に委託することにしたので、運転手・保険・燃料などの費用は全てバス会社の負担となります。

次に、碑文谷警察署へ説明に行きましたが、安全運転の遵守以外に、特に問題はありませんでした。

給油所はガソリン・軽油・灯油などを貯蔵・給油することが原則ですが、目黒消防署の指導を仰いだところ、BDFをポリ容器で安全な場所に保管することで認めてくれました。我々は関係官庁(お役所)が柔軟な対応してくれたことに安堵しました。

4. 16 年を振り返る

1997 年 3 月の読売新聞に、“発車オーライ、天ぷら油で動くバス”と紹介されて威勢よくスタートしたバスですが、同年 9 月の朝日新聞には“天ぷら油バスあがったり、環境に優し、客足は厳し”と揶揄されたりしたこともあります。

2 年後の 1999 年には東京新聞(“進化する都民の足、「ちょっとそこまで」脚光浴びる街バス”)、2000 年 3 月にはNHK-TV(“おはよう日本”、“街の散策に便利なバス”)に紹介されるまでになりました。この頃から、ようやく軌道に乗り始めたのでしょう。

バスの活動が全国に知られるようになり、視察や講演の依頼が増えてきました。私たちも講師を招いて、「エコロジカル・コミュニティバスの未来像を探る」と題するシンポジウムを開催し、勉強会を行ないました。また、NPO法人認証を記念して、講演会「自由が丘のまちと交通」を開催しました。目黒区の「環境リサイクルフェア」にもパネルで度々参加しています。

運行を始めてからは紆余屈折の連続でしたが、嬉しいことも沢山ありました。

1999 年、(財)省エネルギーセンター「地域省エネ実践活動優秀事例賞」、2001 年、東京都・環境省主催「食と環境、ライフスタイル見直しフォーラム」のパネルに参加、2004 年、環境省「大気環境保全活動功労者」として表彰されました。

5. 改正品確法

一方で、経済産業省・資源エネルギー庁の「改正品確法」が施行されたことは、我々にとって“不測の事態”でした。

2009 年 2 月より、BDF 製造業者に対する「事業者登録」と「品質確認」が義務づけられることになりました。

この法改正により、BDF を軽油と混合する場合は、認定された「特定加工業者」に限ることになり、しかも、BDF の混合比率の上限が 5%以下に限定され、その品質が「品確法」の強制規格に適合していなければならないのです。つまり、給油所での BDF 混合が認められなくなったのです。

この背景には、軽油引取税がかからない BDF がトラック業者などの間で増加し、粗悪品が出回ったこともあり、一定の法的規制を果たしたい資源エネルギー庁の思惑があったのだと思います。

しかし、染谷商店は BDF に軽油税を払っており、品質にも問題がありませんでしたから、我々は怒り心頭、経済産業省長官に抗議に行きました。

長官は我々の実績を評価してくれましたが、法律を遵守することが望ましいと考え、暫らくは軽油 100%で走ることにしました。

その後、染谷商店が BDF を 5%混合する認定工場の第一石油販売株式会社を紹介して下さり、現在は自由が丘の「ENEOS(佐藤商会)」の地下タンクをお借りして給油しています。

6. 「乗者数100万人突破！」ますます求められる地域貢献

その後は、現在こうして運行されていることからもお分かりいただけるように、サンクスネイチャーバスは地域に密着した循環バスとして大きく貢献しています。

外出を控えていたお年寄りがバスに乗って買い物に出かけたり、そこで乗り合わせた人達が顔見知りになったり。子供たちもそうです。習い事に行くときにバスを利用することで、大人の視線が子供を危険から守ることができます。さらに高齢化が進むこれからの時代において、こうした地域密着型のバスは大きな意味を持つこととなるでしょう。

このような背景もあって、サンクスネイチャーバスは2008年度の日黒区協働事業に認定されましたので、「サンクスネイチャーバスと未来タウン」と題したシンポジウムを開催いたしました。単なる行政主導ではない、目黒区と地域が共に取り組む事業となったのです。

サンクスネイチャーバスは、どなたでも無料で利用できるバスです。地域に居住しているかに関わらず、どなたでも乗ることができます。

最近では、自由が丘はファッションの街、そしてスイーツの街として、観光スポットにもなっており、サンクスネイチャーバスも海外のガイドブックに記載され、外国人の方にも利用されています。

バス停は全部で14箇所、それ以外でもルート内の危険な場所でなければ手をあげて乗ることも、ドライバーに告げて降りることも可能です。

ルートは2通りで、八雲ルートは毎月約3千人、駒沢公園ルートは約5千人が利用しています。八雲ルートは1997年から、駒沢公園ルートは2004年から走り始めて、すでに2014年4月には乗車数の累計が100万人を突破しました。運行は水曜日をのぞく毎日。昼の12時から夜の9時まで、およそ30分間隔でゆっくりと巡回しています。

無料バスがこうして運営できているのは、多くのサポーターに支えられていることを忘れてはなりません。

メジャーサポーターは162,000円、キーエリアサポーターは54,000円、エリアサポーターは10,800円の会費(消費税込)を毎月いただいています。他に、個人会員も参加しています。さらに、2007年からはラッピング広告やステッカー広告を取り入れるなど、新たな試みも行っています。こうした広告協賛がサンクスネイチャーバスの運営をさらに充実させていることは間違いありません。

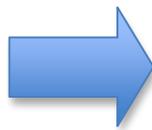
サンクスネイチャーバスを走らす会には、多くの方々よりお問い合わせ頂いております。時には、地方の商店街の役員の方や自治体が、バスの運営方法と実態を調査・視察に見えます。地域へのお礼の気持ちと、自分たちの楽しみのため、有志が集まってはじめた活動ですが、サンクスネイチャーバスは、地域の皆様に支えられて16年も走り続けてきました。

サンクスネイチャーバスの取組みはまだ道半ばです。単に無料バスを運行するのではなく、地域が発展し、そこに住み、訪れる人々が心地よいものでなくてはなりません。「自然さんありがとう！」を実践してこそ、このプロジェクトは完成するのです。

◆歴代のバス



初代サンクスネイチャーバス



2代目サンクスネイチャーバス



現在、2ルート2台にて運行
2社の協賛会社のラッピング広告



◆時刻表とルートマップ (2014年9月現在)

時刻表 水曜運休

2012年10月現在

八雲ルート

	自由が丘駅正面口	日能研&コンサートホール	緑が丘文化会館	立源寺	自由が丘インターナショナルテニスカレッジ	リバティヒルクラブ	ザ・ガーデンクリニック	モンサンクレール
12	0	3	10	12	19	22	23	27
12	30	33	40	42	49	52	53	57
13	0	3	10	12	19	22	23	27 *
14	30	33	40	42	49	52	53	57
15	0	3	10	12	19	22	23	27
15	30	33	40	42	49	52	53	57
16	0	3	10	12	19	22	23	27 *
17	0	3	10	12	19	22	23	27
17	30	33	40	42	49	52	53	57
18	0	3	10	12	19	22	23	27
18	30	33	40	42	49	52	53	57 *
20	0	3	10	12	19	22	23	27
20	30	33	40	42	49	52	53	57
21	0	3	10	12	19	22	23	27
21	30	* 終了						

*印は、ラ・ヴィータ止まり

駒沢公園ルート

	深沢ハウス	自由が丘クリニック (自黒通り渡り)	自由が丘クリニック (分・ガーデン)	モンサンクレール	ラ・ヴィータ	自由が丘駅南口	高橋建設	リバティヒルクラブ (駐車場入り口側)
12	00	06	07	08	14	20	22	
12	35	41	42	43	49	55	57	
13	10	16	17	18	24	30	32	
13	45	51	52	53	59	14:05	14:07	
15	20	26	27	28	34	40	42	
15	55	16:01	16:02	16:03	16:09	16:15	16:17	
16	30	36	37	38	44	50	52	
17	35	41	42	43	49	55	57	
18	10	16	17	18	24	30	32	
18	45	51	52	53	59	19:05	19:07	
19	50	56	57	58	20:04	20:10	20:12	
20	20	26	27	28	34	40	42	
20	50	56	57	58	21:04	21:10	21:12	
21	20	* 終了						



ThanksNature Bus
サンクスネイチャーバス



ルートマップ

サポーター番号をご参照下さい。

は不停止区間

特定非営利活動法人
サンクスネイチャーバスを走らす会

目黒区自由が丘3-17-1(事務局) OPEN 火&金 10:45~17:30
TEL&FAX 03-5729-2511 e-mail tnbus@star.odn.ne.jp http://thanksnaturebus.org
広告協賛: 東急セキュリティ / 自由が丘クリニック / メルサ
協力: 目黒区 / みずほ観光 / みつばコミュニティ / 染谷商店 / 第一石油販売
佐藤商会 自由が丘ステーション / エコライフめぐる推進協会
後援: 自由が丘商店街振興組合

○天候などにより、運休や遅延になる場合がありますのでご了承下さい。

○自由が丘駅正面口乗降場所は、ファーストキッチン前です。

○ルート及び時刻表につきましては、今後も変更する可能性があります。

○ は、安全と定時運行のため不定止区間とさせていただきます。

(学園通りスターバックス~日能研&コンサートホール間はファーストキッチン前のみ乗降可)
(自由が丘インターナショナルテニスカレッジ~リバティヒルクラブ間は、乗降不可)

○ザ・ガーデンの乗降につきましては、目黒通りを渡ってロデオドライブ前にてお願いいたします。

○歩行者天国の場合(祝・日12:00~18:00及びイベント時など)自由が丘駅正面口には乗入れません。日能研&コンサートホールバス停をご利用下さい。

◆ 100万人達成までの乗車人数

ThanksNature Bus 2014.4.1

乗車100万人達成

1997年11月～2002年3月累計 89,531人
 2002年 4月～2013年3月累計 910,467人

(単位：人)

2002年度	八雲	Total	累計
4月	2,726	2,726	2,726
5月	2,632	2,632	5,358
6月	2,636	2,636	7,994
7月	2,876	2,876	10,870
8月	3,174	3,174	14,044
9月	3,091	3,091	17,135
10月	2,868	2,868	20,003
11月	2,635	2,635	22,638
12月	2,792	2,792	25,430
1月	2,456	2,456	27,886
2月	2,707	2,707	30,593
3月	2,973	2,973	33,566
年間合計	33,566	33,566	33,566

2006年度	八雲	駒沢	Total	累計
4月	2,967	4,374	7,341	215,927
5月	2,870	4,450	7,320	223,247
6月	2,932	4,815	7,747	230,994
7月	3,350	4,824	8,174	239,168
8月	3,003	4,474	7,477	246,645
9月	3,033	4,572	7,605	254,250
10月	3,171	5,364	8,535	262,785
11月	2,506	4,170	6,676	269,461
12月	2,435	4,134	6,569	276,030
1月	2,086	3,534	5,620	281,650
2月	2,416	4,111	6,527	288,177
3月	2,678	4,573	7,251	295,428
年間合計	33,447	53,395	86,842	295,428

2010年度	八雲	駒沢	Total	累計
4月	2,581	4,920	7,501	564,238
5月	2,758	5,119	7,877	572,115
6月	2,720	4,683	7,403	579,518
7月	3,185	5,554	8,739	588,257
8月	3,231	5,229	8,460	596,717
9月	3,116	4,968	8,084	604,801
10月	3,119	5,051	8,170	612,971
11月	2,724	4,656	7,380	620,351
12月	2,596	4,815	7,411	627,762
1月	2,138	4,140	6,278	634,040
2月	2,382	4,423	6,805	640,845
3月	2,016	3,878	5,894	646,739
年間合計	32,566	57,436	90,002	646,739

2003年度	八雲	Total	累計
4月	2,779	2,779	36,345
5月	2,851	2,851	39,196
6月	3,135	3,135	42,331
7月	3,396	3,396	45,727
8月	3,623	3,623	49,350
9月	3,318	3,318	52,668
10月	3,262	3,262	55,930
11月	3,004	3,004	58,934
12月	2,640	2,640	61,574
1月	2,718	2,718	64,292
2月	2,918	2,918	67,210
3月	3,195	3,195	70,405
年間合計	36,839	36,839	70,405

2007年度	八雲	駒沢	Total	累計
4月	2,664	4,781	7,445	302,873
5月	2,718	4,685	7,403	310,276
6月	2,950	4,681	7,631	317,907
7月	2,836	4,832	7,668	325,575
8月	2,698	4,725	7,423	332,998
9月	2,976	4,829	7,805	340,803
10月	2,846	4,832	7,678	348,481
11月	2,519	4,154	6,673	355,154
12月	2,503	4,534	7,037	362,191
1月	2,164	3,584	5,748	367,939
2月	2,338	4,240	6,578	374,517
3月	2,660	4,909	7,569	382,086
年間合計	31,872	54,786	86,658	382,086

2011年度	八雲	駒沢	Total	累計
4月	2,291	4,294	6,585	653,324
5月	2,205	4,829	7,034	660,358
6月	2,202	4,928	7,130	667,488
7月	2,564	5,447	8,010	675,599
8月	2,290	4,958	7,248	682,847
9月	2,204	4,938	7,142	689,989
10月	2,075	5,061	7,136	697,125
11月	1,843	4,424	6,267	703,392
12月	1,753	4,541	6,294	709,686
1月	1,213	3,861	5,074	714,760
2月	1,243	4,119	5,362	720,122
3月	1,218	3,694	4,912	725,034
年間合計	23,101	55,194	78,295	725,034

2004年度	八雲	駒沢	Total	累計
4月	3,143	0	3,143	73,548
5月	3,334	0	3,334	76,882
6月	3,667	0	3,667	80,549
7月	3,673	0	3,673	84,222
8月	3,423	0	3,423	87,645
9月	3,298	2,110	5,408	93,053
10月	3,364	2,554	5,918	98,971
11月	3,080	2,288	5,368	104,339
12月	2,636	2,172	4,808	109,147
1月	2,805	2,130	4,935	114,082
2月	2,636	2,503	5,139	119,221
3月	3,135	3,049	6,184	125,405
年間合計	38,194	16,806	55,000	125,405

2008年度	八雲	駒沢	Total	累計
4月	2,670	4,330	7,000	389,086
5月	2,782	4,662	7,444	396,530
6月	2,752	4,588	7,340	403,870
7月	2,935	4,817	7,752	411,622
8月	3,090	5,048	8,138	419,760
9月	2,817	4,776	7,593	427,353
10月	2,920	4,676	7,596	434,949
11月	2,555	4,220	6,775	441,724
12月	2,512	4,194	6,706	448,430
1月	2,064	3,624	5,688	454,118
2月	2,395	3,822	6,217	460,335
3月	2,599	4,580	7,179	467,514
年間合計	32,091	53,337	85,428	467,514

2012年度	八雲	駒沢	Total	累計
4月	1,961	2,886	4,847	729,881
5月	1,069	4,146	5,215	735,096
6月	1,602	5,655	7,257	742,353
7月	1,732	6,272	8,004	750,357
8月	1,700	5,361	7,061	757,418
9月	1,932	5,191	7,123	764,541
10月	2,017	5,598	7,615	772,156
11月	1,993	5,784	7,777	779,933
12月	1,892	5,288	7,180	787,113
1月	1,386	4,453	5,839	792,952
2月	1,844	4,986	6,830	799,782
3月	2,075	5,929	8,004	807,786
年間合計	21,203	61,549	82,752	807,786

2005年度	八雲	駒沢	Total	累計
4月	2,906	3,858	6,764	132,169
5月	3,139	4,484	7,623	139,792
6月	3,015	3,894	6,909	146,701
7月	3,656	4,397	8,053	154,754
8月	3,223	4,134	7,357	162,111
9月	3,053	4,085	7,138	169,249
10月	3,207	4,241	7,448	176,697
11月	2,639	3,824	6,463	183,160
12月	2,596	3,773	6,369	189,529
1月	2,363	3,384	5,747	195,276
2月	2,527	3,672	6,199	201,475
3月	2,810	4,301	7,111	208,586
年間合計	35,134	48,047	83,181	208,586

2009年度	八雲	駒沢	Total	累計
4月	2,536	4,524	7,060	474,574
5月	2,839	4,809	7,648	482,222
6月	2,970	4,543	7,513	489,735
7月	3,134	4,995	8,129	497,864
8月	2,904	5,026	7,930	505,794
9月	2,701	5,060	7,761	513,555
10月	2,909	5,237	8,146	521,701
11月	2,694	4,928	7,622	529,323
12月	2,536	4,712	7,248	536,571
1月	2,189	3,847	6,036	542,607
2月	2,471	4,178	6,649	549,256
3月	2,663	4,818	7,481	556,737
年間合計	32,546	56,677	89,223	556,737

2013年度	八雲	駒沢	Total	累計
4月	2,062	5,405	7,467	815,253
5月	2,032	5,883	7,915	823,168
6月	2,349	6,322	8,671	831,839
7月	3,797	5,459	9,256	841,095
8月	4,058	6,108	10,166	851,261
9月	3,798	5,575	9,373	860,634
10月	4,048	5,397	9,445	870,079
11月	3,751	5,559	9,310	879,389
12月	3,405	4,940	8,345	887,734
1月	3,256	4,542	7,798	895,532
2月	2,850	4,432	7,282	902,814
3月	2,562	5,091	7,653	910,467
年間合計	37,968	64,713	102,681	910,467

1997年11月～2013年3月累計 999,998人